活き活きと輝き、誇れるまちの情報誌「広報ゆのまえ」
ゆのまえ 6
2015
No.408
初夏に輝く数多(あまた)の光
特集 鶴田町政３期目、始動
「道標－ミチシルベ－」
広報
ゆのまえ

Pick Up Topics

調定にサインをした鶴田正已町長（左）

# 海洋センターで コミュニティ、健康づくり

## 地域コミュニティに関するモデル事業調印式

「地域コミュニティに関するモデル事業調印式」は、5月8日に東京都のブルーシー・アンド・グリーンランド（B&G）財団本部で開かれ、同財団が本町と北海道積丹町の2町でコミュニティや健康づくりをテーマにしたモデル事業に取り組むことが発表されました。

取り組みは海洋センターを使って、地域のコミュニティを再生しようと今年度から始まるもので、事業に賛同した両町には同財団からそれぞれ1,000万円が助成されます。今後は小さな子どもから高齢者まで、誰もが使える地域コミュニティの拠点を目指していきます。

今年度の本町での事業は大きく二つ。一つ目はロビースペースの一部を広げ、冷暖房器具やテーブル、椅子を置く「いこいの場づくり」。ロビーには各教室に参加した人がお茶を飲み、いつでも休憩所できるようなフリースペースを作ります。

二つ目は、「健康ベースアップ事業」。ミーティングルームを冷暖房完備の多目的運動施設に改修し、一年中安全に運動ができるスペースとプログラムが組めるように改修していきます。

改修後は講師を招いて運動指導や健康診断、データを取って一人一人に合った運動プログラムを作るなど町民が健康づくりを続けられるようにします。事業はことし7月ごろから始まる予定です。



広報 ゆのまえ
2015.6 No.408

CONTENTS　目次

2
Pick Up Topics
地域コミュニティに関する
モデル事業調印式
3-7
特集
鶴田町政3期目、始動
「道標ーミチシルベー」
8-9
ゆのまえ潮おっぱい祭り
10
JTの森
11
トピックス
・湯前保育園児がヤマメ放流
・キッズサッカー巡回
・湯前小自転車教室
12
ご寄付ありがとうございました、
湯前中学校体育祭
13
区長・分館長紹介
新刊が入りました
14
婦人会だより、ごみ情報
15
保健師だより、戸籍の窓
16
皆川亮二
原画展・サイン会
編集あとがき

〈6月の表紙〉

春から夏へ。季節の移り変わりを知らせる『虫の知らせ』が湯前にも届きました。写真は5月25日午後8時30分ごろの瀬戸口区仁原川です。水質のきれいな川辺でホタルたちは光の演舞を見せてくれました。

特集 鶴田町政3期目、始動

# 道標

## ーミチシルベー

平成27年4月27日、鶴田正已町長の3期目がスタートしました。

2期目に引き続き、4年間の舵取り役を託された鶴田町長の決意は。

そして目指すべき、町の未来像とはー。

# 鶴田町政、始動

当選証書を受け取る鶴田町長（右）

## 鶴田正巳町長、２期連続で無投票再選

**任期満了による湯前町長選挙は４月21日に告示され、鶴田正巳氏（56＝下城）が無投票での再選を果たし、鶴田町政の３期目が始まりました。**

### ３期目の決意を表明

町長選挙は２期連続で無投票になりました。４月27日に湯前町役場で開かれた当選証書付与式では地内正巳町選挙管理委員長が「３期目のご当選、おめでとうございます。町では後継者不足や人口の減少などの厳しい状況があります。リーダーシップを発揮され、町民が『住んでよかった』と思えるまちづくりに期待しています」とあいさつ。

鶴田町長は同日、湯前町役場に初登庁しました。就任式では長谷和人副町長が「鶴田町政２期８年の実績と手腕が評価された結果。職員も全力で取り組みます」とお祝いの言葉を鶴田町長へ伝えました。鶴田町長は「全力で町政に当たり、地域の宝をしっかりと磨き上げていく。町民の皆さまと意見を交わしながら政策に結びつけ、幸せを感じていただくまちづくりを進めていきたい」と３期目の決意を述べました。

# 湯前のまちづくり

**ことしは地方創生元年。これからのまちづくりにとって大切な平成27年度の施政・予算方針を見ていきましょう。**

## 施政方針

### 1 農業の支援

・農家と意見を重ね、心から喜ばれる制度をつくる

### 2 住みやすさの充実

・公営住宅や地域優良住宅など、子育て世帯が入居できるように住環境を整備
・湯前・慈光両保育園と連携した保育サービスの充実
・学校給食調理場の改築でさらに衛生に配慮

### 3 資源を活かしたまちづくり

・漫画、文化財、健康、自然を組み合わせたまちづくりでさらに地域の宝に磨きをかける
・日本遺産に認定された神社仏閣や伝統芸能など、地域の文化・伝統の活性化を支援
・町内の全家庭にある光ケーブルを使ったＩＣＴ（情報通信技術）で暮らしやすさを向上

## 平成27年度予算方針

※主なもの

**育み、支え合う人とまちづくり**

○受け継がれてきた家業が絶やされないように後継者を育成・支援

**教育**

○ＩＣＴを使って、子どもが自分で学ぶ力を引き出す
○学校と地域が協力し、自然や文化、伝統を大切にできる人間づくり
○安心して学校で生活できるような施設の維持補修
○特別支援教育の充実
○町の文化財の保護と活用
○幅広い年齢層に親しんでもらえるような漫画イベントの開催

**産業**

○町独自の制度を作って農業を支援
○畜産奨励補助金を使って優秀な素牛を導入し、畜産の活性化と所得の向上に努める
○ＩＣＴを使った６次産業化の推進
○第１湯前、蓑谷ため池、仁原地区の農地整備
○立木調査をして主伐計画をつくり、森林資源を更新
○鳥獣被害対策でシカ・サルを捕獲
○観光客を商店街へ誘導する取り組み
○プレミアム商品券の支援
○文化財の周遊ルートの整備、観光案内人を育て、交流人口を増やす

**住環境の整備**

○町道新村線の歩道整備
○路面の悪い３路線の町道を舗装修繕
○32橋の点検を実施
○県道西の園中里線の道路改良
○３戸の地域優良賃貸住宅の建設を計画

**健康・福祉**

○各種検診や予防接種で病気の予防と早期発見に努める
○地域で見守り、支える体制づくり

## 町民の声　―私が思う理想のまち―

豊永　香織さん（野中田２）

山井　和子さん・柊和くん（右）・星蓮くん（中央）（上里３）

豊永　勝大さん・碧音ちゃん（左）・結音ちゃん（右）（上里３）

浅田　仁さん（中里２）

井上　朋和さん（馬場）


藏座　ハツさん（中里２）

# 町民が幸せを　感じる町へ

For Happiness

農業公社で取り組んだ茎ワサビの栽培

### 農業でも強い事業体を

２期目の４年間、農林業の再生に力を入れてきました。林業はそれぞれの事業体がしっかりしています。本町は県内でもトップレベルの森林整備・調査ができています。

平成23年11月に農業公社を設立しましたが、まだ道半ば。後継者をいかに育てるかということは私が町長として勤めてきた８年間だけでなく、町の長年の課題です。個人や法人、いろんな形はありますが、まずはしっかりとした基盤を作っていかなければいけません。

JTの森であいさつをする鶴田町長

兼業農家が専業でやっていくためには、施設、面積の収集、技術の向上、求められる支援はそれぞれに違ってくるはずです。本当に必要な支援とは何かをしっかりと考えていきます。

### まちに住む人がどれだけ幸せを感じられるか

町の人口は、25年後の平成52年に２５１０人になると予測されています。人口を急激に増やす、もしくはたくさんの人に移住していただくことは現状、難しいことです。しかし、まちづくりに大切なのは人の数よりも、まちに住ん↘

修復が完了した八勝寺阿弥陀堂

たくさんの漫画家が町を訪れている

でいる人がどれだけ幸せを感じれるかということ。まちをつくるのは行政ではなく、町に住む「人」です。住民のニーズを汲み取り、一つ一つの政策と結びつけていかなければなりません。

湯前は役場から10分で行けないところがないコンパクトな町です。暮らしやすさの質は教育、医療、雇用などそれぞれの組み合わせで上げていきます。一つだけを高めるのではなく、組み合わせることで相乗効果が生まれます。町に住んでいて、おおよそ不自由がない環境を作ることを目指します。

### 「残りたい」は「残らせたい」から

人が一生懸命に働いて、生きてきた結果で今があります。子どもは親の一生懸命な背中を見て「地元に残りたい」と思ってきました。親は自分より、我が子にとって地域がどうなれば良いかを考えます。親が子どもに「残ってくれ」と言える地域にするためには、いかに子どもたちに負担を残さず、将来に希望を持てるような地域にしていくか。都会と比べると所得や便利さなど、足りないところもありますが、便利さだけでは↖

計れない「大切なものがある地域」にしていく。それができれば若者が「残りたい」と思える地域になっていくのだと思います。

### 資源を磨きあげる

今回認定された日本遺産。この地域は相良７００年という長い歴史と文化を重ねてきました。長い時間をかけて、文化を守り、磨き上げてきた歴史。くま川鉄道、農林業、漫画や文化財。地方創生のチャンスは町の中にあります。町にある資源を磨き、実績を検証して、続けていくこと。町のポテンシャルを発揮できれば、素晴らしいものができあがると思います。

町の外へ情報を発信して交流人口を増やすことだけでなく、住民の皆さんにあらためて町の魅力に気づいていただくことも大切です。心から湯前を好きになっていただけるように「活き活きと輝き、誇れる町、ゆのまえ」を目指してまちづくりを進めていきます。

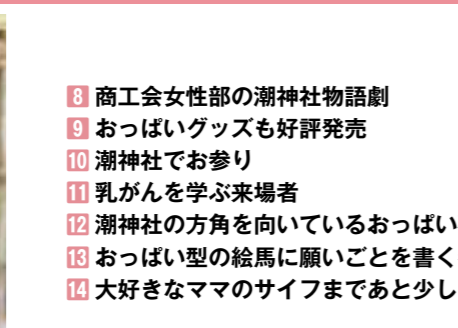
プロフィル：昭和３３年湯前町生まれ。県立球磨農業高校（現南稜高校）卒。昭和６０年から５期２０年、松村昭熊本県議秘書を務める。平成１９年４月、湯前町長初当選。
平成23年4月に2期目の再選を果たし、平成27年4月、同職へ再選（3期目）。

## 第８代湯前町長 鶴田　正已
TSURUDA　MASAMI

# ゆのまえ潮
# おっぱい祭り

第10回ゆのまえ潮おっぱい祭り（竹下裕一実行委員長）は4月29日、ゆのまえグリーンパレス芝生広場と潮神社で開かれ、子宝・安産合同祈願式やおっぱい早飲み競争などでにぎわっていました。

潮神社で開かれた子宝安産合同祈願式には19組が乳房をかたどった絵馬に願いごとを書いて神社に奉納しました。

メーン会場では、ほ乳瓶で牛乳を飲む「おっぱい早飲み競争」があり、個人、団体戦では大人から子どもまでが参加し、楽しんでいました。赤ちゃんハイハイ競争やおっぱい体操、ミルクもち作り、おっぱいグッズの販売など、会場にはたくさんのこだわりがありました。

8 商工会女性部の潮神社物語劇
9 おっぱいグッズも好評発売
10 潮神社でお参り
11 乳がんを学ぶ来場者
12 潮神社の方角を向いているおっぱい石
13 おっぱい型の絵馬に願いごとを書く参拝者
14 大好きなママのサイフまであと少し

1 真剣にほ乳びんで牛乳を飲む参加者ら
2 会場一帯にMICAさんの歌声が響く
3 ミルク餅づくりに挑戦する親子
4 小さな子どもも負けじと飲み干す
5 おっぱい祭りのオリジナルスタッフTシャツ
6 会場に駆け付けたたくさんの人たち
7 飲み終わってほ乳びんを机に置くまでが勝負

# 森を歩いて 7年の整備を見学

第２期ＪＴの森ゆのまえ第３回森林保全活動が５月９日のＪＴの森一帯（蓑谷ため池からグリーンパレスへと抜ける作業道）で行われ、九州各地の日本たばこ産業株式会社（ＪＴ）と地元参加者２５０人が森林散策や作業道の管理作業を体験し、自然を守る大切さを学びました。

地元参加者の説明を聞きながら森林を散策

溝をクワできれいにしていく参加者

町とJTは平成25年11月に「JTの森第2期森づくり協定」を結び、平成30年まで一緒に森の整備をしていきます。JTの加藤和人九州支社長が「JTの森は全国に9カ所あるが、湯前ほどきれいに整備されているところはない。今日は森を歩いていただき、7年間の整備にどんな苦労があったのかを感じてもらえれば」とあいさつしました。

参加者は蓑谷ため池からグリーンパレス芝生広場へと抜ける3㌔㍍の林道の散策。10班に分かれて、雨水を作業道の外へ逃がす「横断溝」の管理作業をしました。溝が詰まった状態が続くと作業道や山腹の崩落の危険にもつながるため、参加者はクワを使って、汗を流しながら溝をきれいにしていました。

昼食はバーベキューのほか、グリーントマトのスパイシー揚げや町の原木で育った宮城県産のシイタケが入ったお吸い物などがあり、参加者は喜んでいました。参加した坂元義孝さん（熊本支店＝5回目）は「いつも良くしてもらっていて、湯前町のおもてなしには感動しています。今日はいつも作業している森がこんなに広かったのかと驚きました。家族とまた来たいですね」と話していました。

**第２期JTの森ゆのまえ**
**第３回森林保全活動**

作業後

作業前

葉や砂利で詰まっていた溝がきれいになって、役割を果たすようになった



## 保育園児が初放流に笑顔
### 球磨川漁協がヤマメ7500匹を放流

球磨川漁業協同組合上球磨支部湯前分会は4月24日、球磨川水系の3河川にヤマメの稚魚7500匹を放流し、牧良川では湯前保育園の年長児13人が保育士や関係者らと一緒になって放流を体験しました。

ヤマメの放流は観光や経済の活性化につなげたいと同漁協が昭和51年ごろから行っています。漁協は今回、各河川に2500匹ずつヤマメを放しました。ことしは初めて園児の放流体験を開催。園児たちは冷たく、澄んだ川に5㌢㍍ほどの小さなヤマメを保育士や関係者らと一緒に放流していました。放流されたヤマメの稚魚は気持ちよさそうに川の中を泳いでいて、園児たちは「早く大きくなってね」と笑顔でヤマメの姿を見ていました。

放流されて元気に川の中を泳ぐヤマメ

## サッカーに親しみを
### 湯前保育園でサッカー教室

湯前保育園のサッカー教室は5月13日に同園であり、4,5歳児の29人がドリブルやボールを使った遊びでサッカーを楽しみました。

取り組みは子どもたちが早い時期からサッカーに興味を持つことで、サッカーのレベルを上げようと県サッカー協会キッズ委員会が主催しています。同委員会の井村慎吾さんら二人が教室のコーチを務めました。

ボールを使う前に元気よく準備運動。園児たちはコーチの指導を受けながら、足の裏を使ってドリブルしたり、ボールを足で挟んで歩いたり、ジャンプしたりしてボールに慣れていきました。「ボールは先に蹴らず、体と一緒に動かして」とコーチのアドバイスを受けると、園児は上手にボールを転がしていました。試合もあり、園児たちは全力でボールを追いかけていました。井村コーチは「子どもたちが予想以上に真剣に頑張ってくれた。たくさんの子どもたちにサッカーを好きになってもらえたら」と話していました。

コーチと一緒に楽しく体を動かした園児たち

## いつもの道でも気をつけて
### 湯前小自転車教室

湯前小学校の交通教室は4月28日、同校グラウンド一帯で開かれ、全校生徒188人が学年ごとに交通安全を学びました。

取り組みは、学年が変わり、不慣れな自転車に乗る児童や初めて通学をする新入生が入学する春に行われ、交通安全母の会、民生児童委員、多良木警察署湯前駐在所が協力しています。

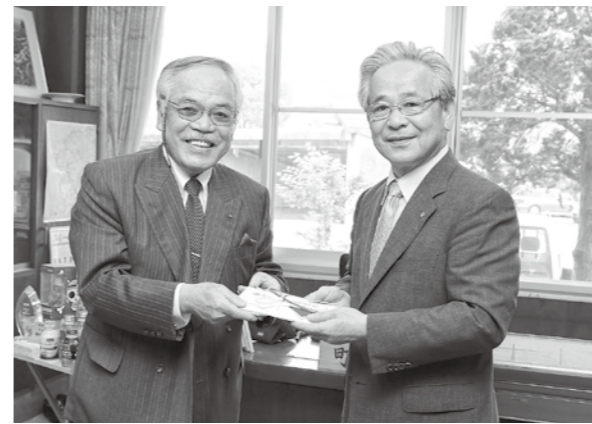
1,2年生は学校周辺約1㌔を1 列で歩き、左右を確認しながら道路を横断していました。

3 〜6 年生は自転車に乗って、グラウンドに準備されたコースで交通ルールを学びました。児童は黄色信号できちんと止まり自転車から降りて歩道を渡ることや、障害物で見えにくい角の曲がり方などを学んでいました。藤岡慈将くん（同校4年＝上里3）は「自転車も車と同じで、いつも通っている道でも、危険がたくさんあることが分かった。今日勉強したことを遊ぶときも覚えておきたい」と話していました。

自転車や歩行中の注意を児童に教える橋田實子会長（交通安全母の会）

# 岩城さん100万円を寄附

湯前町出身で全国社会保険労務士連合会理事の岩城猪一郎さん（76＝東京都）が4月24日に湯前町役場に来庁し、100万円の寄付金を鶴田正己町長へ手渡しました。

岩木さんは球磨農業高校を卒業後、上京。同連合会理事として昨年、旭日双光章を受賞しています。平成19年から10万円ずつ額を増やし、今回は自身の喜寿記念で町に100万円を寄附しました。岩城さんは「育ててもらった湯前に恩返しがしたかった。これからも長生きをして町のお役に立てれば」と話していました。

鶴田町長へ寄附を手渡した岩城さん（左）

## ご寄付ありがとうございました

甲斐ミチ子さん（千葉県）
樅木裕孝さん（あさぎり町）
小泉孝平さん（愛媛県）
井上昭元さん（宇城市）
尾前輝雄さん（福岡県）
久保田光弘さん（岐阜県）
西恵子さん（大阪府）
本多一成さん（埼玉県）

湯前中学校体育祭

# 新競技で真剣勝負

平成27年度の湯前中学校体育祭は5月17日に開かれ、全校生徒98人が赤白二つの団に別れて、熱戦を繰り広げ、本村五喜さん（同校3年＝中里2）が団長を務めた赤団が総合優勝しました。

短距離走や、リレー、親子団体競技のほか、ことしは男子騎馬戦や女子棒引きがありました。棒引きでは、女子同士が真剣勝負。1本でも多くの棒を引き込もうと、力を合わせて黙々と棒を引いていました。

男子のソーラン節や女子の創作ダンス、どちらもすばらしい踊りにアンコールが湧き起こりました。応援団競演では白団が勝利しましたが、総合成績で赤団が勝利しました。

白熱した男子全員の騎馬戦

全力で走り、黙々と戦う女子たち



区長・分館長のご紹介

# 区長に3人、分館長に1人を新任

平成27年度第1回区長会は4月22日、湯前町役場で開かれ、新たに区長に就任した3人と再任した10人に辞令が交付されました。区長の任期は2年。区民を代表して、町行政についての調査、連絡・報告、その他の事務を受け持ちながら、区民の意向が町政に反映できるようパイプ役としてご活躍いただきます。

平成27年度区長・公民分館長名簿　※太字は新任

| 分館名 | 区　長 | 分館長 |
|---|---|---|
| 浜川 | 岡﨑　郡太 | 岡﨑　郡太 |
| 下城 | 永野　幸延 | 永野　幸延 |
| 古城 | 大中　憲之 | 大中　憲之 |
| 浅鹿野 | **谷山　和己** | 右田　広美 |
| 牧良 | | 吉田　礼仁郎 |
| 上猪 | **永山　哲男** | 松山　美智男 |
| 中猪 | 落合　靖則 | 桑原　和紀 |
| 野中田1 | 竹﨑　靜馬 | 竹﨑　靜馬 |
| 野中田2 | 亀山　哲馬 | 亀山　哲馬 |
| 野中田3 | 荒木　利八 | 荒木　利八 |
| 田上 | 落合　謙二 | 落合　謙二 |
| 上村 | 多良木　秀幸 | 多良木　秀幸 |
| 下村 | **山浦　義光** | **山浦　義光** |

| 分館名 | 区　長 | 分館長 |
|---|---|---|
| 馬場 | 山口　栄 | 篠宮　正利 |
| 山口 | | 黒木　寛治 |
| 瀬戸口 | 柳瀬　鐵男 | 深水　幹郎 |
| 辻 | | 小野　眞也 |
| 上里1 | 椎葉　富雄 | 椎葉　富雄 |
| 上里2 | 野田　英敏 | 野田　英敏 |
| 上里3 | 中武　義秋 | 中武　義秋 |
| 上染田 | 楠浦　和廣 | 楠浦　和廣 |
| 下染田 | 濵砂　和彦 | 濵砂　和彦 |
| 中里1 | 長田　堅 | 長田　堅 |
| 中里2 | 松本　常晴 | 松本　常晴 |
| 下里 | 橋田　祐明 | 橋田　祐明 |
| 植木 | 椎葉　勝洋 | 椎葉　勝洋 |

# 新刊が入りました！

中央公民館図書室

○平日8：30～17：00　○土日・祭日9：30～17：00
※貸出期間は2週間で、ひとり5冊まで。
〈お問い合わせ〉中央公民館（TEL 0966-43-2050）

### 熊本「地理・地名・地図」の謎

鈴木 康夫（著）　実業之日本社

九州本島の中央部に位置し、阿蘇山や有明海などの雄大な自然に囲まれた熊本。古代より「火の国」と呼ばれ、多くの装飾古墳を残している。そんな地形的にも歴史的にも稀有な地域である熊本の“不思議”を一挙公開。「天草市の水不足を解消した大胆な発想とは!?」「いまなお現役の轟泉水道、長持ちの秘訣とは!?」「味噌天神社はもともと味噌とは無関係？」「熊本城の畳は芋の茎でできている!?」「干潮時にしか姿を見せない、おっぱい岩とは？」など、熊本の謎を紹介する。

### サラバ！ 上

西 加奈子（著）　小学館

1977年5月、圷歩は、イランで生まれた。父の海外赴任先だ。チャーミングな母、変わり者の姉も一緒だった。イラン革命のあと、しばらく大阪に住んだ彼は小学生になり、今度はエジプトへ向かう。後の人生に大きな影響を与える、ある出来事が待ち受けていることも知らずに―。

### 決戦！関ヶ原

葉室 麟（著）
ほか6人
講談社

慶長五年九月十五日（1600年10月21日）。天下分け目の大勝負―関ヶ原の戦いが勃発。乱世を終わらせる運命を背負ったのは、どの男だったのか。新しい戦場を感じる、七人の作家が参陣した競作長篇。

### へいわって すてきだね

安里有生（著），
長谷川義史（イラスト）
ブロンズ新社

いかなる理由があるにせよ、人々を殺し、傷つけることはまちがいです。6歳の少年の詩を長谷川義史が魂で描いた、沖縄発・平和へのメッセージ。

### 必ず収穫できる 藤田智の 野菜づくり入門

藤田 智（著）
実業之日本社

NHK「趣味の園芸やさいの時間」など、テレビでおなじみの野菜の先生が教える、家庭菜園の教科書！実もの、葉もの、根もの33種類140品種収録。

# 夏は感染症に注意しましょう！

保健師だより

**いずれも年中起きる感染症ですが、特に夏場に多くなります。これから注意が必要です。**

## 管出血性大腸菌感染症

原因になる大腸菌は、O157、O26、O111など。菌に汚染された食品、食器、手指などを介して口から感染する。感染力が強く、集団の場所で感染が広がりやすい。3～5日間潜伏し、下痢、腹痛、血便、発熱がある。まれに、脳症などの重症な合併症を起こす。

- 食品を十分な加熱（75℃で1分以上）
- 食品を加熱する前と後で調理器具を分ける。

## 手足口病

2歳以下に多い急性ウイルス性感染症。手、足、口の中などに小さな発疹ができる。ほぼ軽い症状だが、まれに髄膜炎など重症化することもある。患者のくしゃみ、水ほう、便にウイルスがいて、回復しても数週間は、便中にウイルスがいる。

- 排泄物を適切に処理する
- タオルの共用はしない。

※頭痛・嘔吐、高熱が2日以上続くときは早めに医療機関を受診しましょう。

## ヘルパンギーナ

小児の急性ウイルス感染症。患者は1歳がもっとも多い。急な発熱と、のどにできる水ほう、浅い潰瘍などが特徴で、強い痛みがあり、唾液を飲み込むのもつらくなる。鼻水や唾液にもウイルスがいる。

食事の前やトイレの後のうがい、手指の消毒をする。

## 咽頭結膜熱

唾のしぶきで感染が広がり、プールの脱衣所やタオルの共用で感染することもあるので、プール熱とも呼ばれる。5～7日潜伏し、発熱、咽頭炎、結膜炎の症状が出る。ほとんどは3～5日で治るが、ウイルスにはたくさんの種類があり、重症化することがある。

- 感染者と濃密な接触をしない
- 水泳前後のシャワーとタオルの共用を避ける。

## 日本脳炎

日本脳炎ウイルスに感染した蚊に刺されて感染する。多くは何の症状も出ないが、300～3000人に一人、脳炎を発症する。人から人への感染はない。5～15日潜伏し、頭痛・発熱、その後、高熱（39～40度）になり、筋硬直、けいれん、昏睡などの症状が出て、20～50％が死に至る。死亡しなくても、半数近くは重度の後遺症を残す。

- 過労を避け、栄養を十分に取ることで体力を保つ
- なるべく蚊にさされないよう注意する。

※新しい日本脳炎ワクチンが開発され、現在は通常どおり予防接種が受けられるようになっています。適切な時期に、必要な回数を接種してください。

**どの病気も、一番の予防策は手洗い、うがいです!!**

**人吉保健所では、食中毒や感染症予防の出前講座も行っていますので、お気軽にご相談ください。**

問い合わせ先▶熊本県人吉保健所　TEL：0966－22－3107　FAX：0966－22－4392

湯前町保健センター　保健師　中西　博子

# 戸籍の窓

平成27年4月1日～平成27年4月30日届出分

（敬称略）

## ご結婚おめでとう

| 氏名 | | 地区名 |
|---|---|---|
| 松原　智哉 | ♥ | （浜　川） |
| 石川　祐衣 | | （福岡県） |
| 小山　尚宏 | ♥ | （鹿児島県） |
| 池田　奈央 | | （上　村） |

## たんじょうおめでとう（うぶごえ）

| 氏名 | 保護者 | 地区名 |
|---|---|---|
| 山浦（やまうら）　大志（たいし） | 隆宏 | （下　村） |

## ご冥福をお祈りします

| 氏名 | 地区名 |
|---|---|
| 久保田　速 | （野中田1） |
| 久保田　タネ子 | （瀬戸口） |
| 西　次夫 | （浜　川） |
| 岩野　實雄 | （瀬戸口） |
| 地下　一政 | （浅鹿野） |
| 桑原　榮子 | （下　村） |

## 香典返し

| 氏名 | 地区名 |
|---|---|
| 藤田　直彦 | （上　村） |



# おじゃまします　地域婦人会です！

婦人会だより　No.31

＜湯前町地域婦人会　会長　橋田實子＞

**4月28日（火）　湯前小交通安全教室**

交通安全母の会として湯前駐在所、民生委員に協力してもらい、自転車の正しい乗り方を勉強しました。自転車は車両です。大人の私たちも気をつけて乗りましょう。

**5月1日（金）**

**あさぎり町須恵文化ホール**
**春の全国交通安全運動合同出発式**

**5月10日（日）**

**県婦人会大会　天草市民センター**

口演（こうえん）　矢野大和氏（大分観光大使）　演題「～必要とされる喜び～」

※話の中に笑いを取り入れるユニークな語り口で、あえて「口演」としている

①「あなたに会えて良かった、またお会いしたいです」と言う
②人の話を聞くときはとりあえずうなずく
③何かをしていることが元気の秘訣
④どこに生まれて、どんな環境でもそれなりのリスクはあるので、前向きで考えよう
⑤同じところにまた呼ばれるような、期待を裏切らない話をする

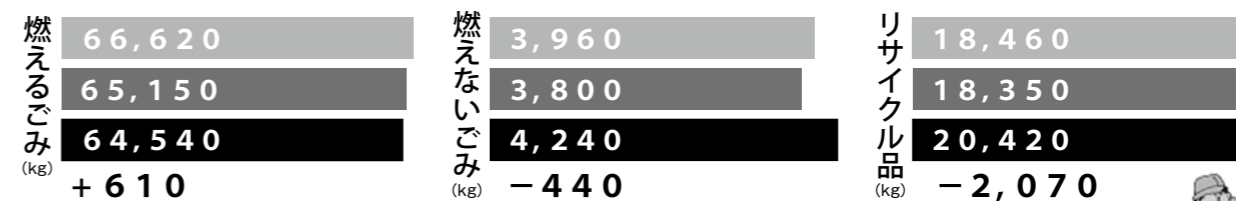
**これから**

6月支部長会
エッグアート講習会

7月支部長会
救急救命講習
（上球磨消防署から）

# 5月のごみ情報

4月末人口　4,180人

| 種類 | 先月分 | 今月分 | 昨年の4月分 | 差 |
|---|---|---|---|---|
| 燃えるごみ（kg） | 66,620 | 65,150 | 64,540 | ＋610 |
| 燃えないごみ（kg） | 3,960 | 3,800 | 4,240 | −440 |
| リサイクル品（kg） | 18,460 | 18,350 | 20,420 | −2,070 |
| 粗大ごみ（kg） | 490 | 560 | | |
| 有害ごみ（kg） | 40 | 40 | | |

一人一人の意識が、ごみを変えていきます。ご協力をお願いします。

## 緑のカーテンとは??

アサガオやゴーヤのようなツル性の植物で作る自然のカーテンのことです。夏の暑い日に、葉っぱの間をすり抜けていく涼しい風は、天然のエアコンのよう。植える植物によっては、野菜も収穫でき、とても楽しいカーテンです。

種や苗を今から植えれば、夏には立派なカーテンが出来上がります。必要な道具もネットやポール、プランターなど手に入りやすいものばかりです。

見た目も華やか、遮光・冷却効果で節電しながら、花や野菜を楽しむことができます。ことしは"一石三鳥"なカーテン作りに挑戦してみませんか？

## リサイクルステーションからのお願い！

**布製品の出し方にご注意ください！**

**◇リサイクルできるもの**
シーツ、衣類、カーテン（きれいなもの）

**◇リサイクルできないもの**
毛布・布団（→クリーンプラザへ）
綿入れ・ぬいぐるみ・枕（→可燃ごみへ）

カセットボンベ・スプレー缶は穴を開けて不燃ごみへ

**※6月の不燃物収集は3（水）と17（水）です。（第1・第3水曜日）**

広報 ゆのまえ 2015 6月号
No.408

発行 / 湯前町役場総務課
〒868-0621 熊本県球磨郡湯前町1989-1
TEL 0966-43-4111 FAX 0966-43-3013
ホームページ http://www.town.yunomae.lg.jp/
E-mail kouhou@town.yunomae.lg.jp
発行日 / 平成27年6月1日 印刷 / (有)ソーゴーグラフィックス

展示された原画を一点ずつ説明していく皆川さん

# 皆川 亮二
## サイン会・原画展

直筆サインに喜び、握手を交わす参加者

# 「こんなに近くに！」ファン熱狂

見る人を圧倒する原画の数々が、展示されている

**漫画家皆川亮二（みながわりょうじ）さんの原画展が4月25日から6月28日までまんが美術館で好評開催中です。初日には同館でオープニングセレモニーが開かれ、皆川さん本人が来場。20人限定のサイン会や原画の説明で、東京や千葉、愛知など遠くから駆け寄ったファンを魅了しました。**

原画展は昨年、皆川さんが漫画フェスタでトークショーをしたことがきっかけ。原画展では週刊少年サンデーに連載され絶大な人気がある「スプリガン」「ARMS（アームズ）」「D－LIVE（ドライブ）！」を中心に、知人に送った直筆イラスト入りの年賀状やノートなどほかでは見ることのできない作品約250点が展示されています。原画はどれもきめ細やかな描写で、皆川さんの壮大な世界観に引き込まれます。

セレモニー後は皆川さんがファンと一緒に会場を回り、一つ一つ、原画に込めた思いやエピソードを説明。ファンは「なるほど」と漫画のシーンを思い出しながら、皆川さんの話に聞き入っていました。サイン会では、皆川さんがファンからのリクエストに応えてキャラクターを描いていました。サインをもらった小野友夏子（おのゆかこ）さん（25＝愛知県）は「小中学生のときに兄が借りてきたARMSを読んでファンになりました。（皆川さんと）こんなに近くで話せて、サインまでもらえました。感動です」と笑顔で話していました。

## 編集あとがき

▼漫画家の皆川亮二さんの20人限定サイン会には東京、千葉、名古屋など遠くから参加がありました。聞けば参加者はインターネットで情報を知った人が多いとのこと。皆川さんの原画展は日本初。地元の参加者は少し少なかったように思います。日本中に発信できるインターネットですが、私が思うに一番の宣伝方法は人の口。「〜があるから、行ってみない?」と誘われると行ってみたくなりませんか?紙やパソコン以外に、私も一個人として、皆さんに情報をお伝えしていきたいと思います。

▼夏も近づき、中体連や、郡体のシーズンが近づいてきました。6月は本番に向けて練習もハードに。中学で野球をしていた私。2年生のとき、中体連の試合直前に足をくじき、開始後1アウトで交代…私には監督からものすごい雷が…（今では笑い話）。大会に参加される皆さん、どうか怪我にはご注意を。カメラを構えながら皆さんを応援しています。（宏）

ご意見・投稿はこちらから